

王城寺原演習場対策協議会の開催

令和4年11月10日、王城寺原演習場対策協議会（構成委員 宮城県副知事、大和町長、大衡村長、色麻町長）が宮城県庁において開催され、東北防衛局は同協議会に対し、令和4年度の王城寺原演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練の日程、訓練規模、新型コロナウイルス感染症対策等について説明しました。

協議会では、会長である池田敬之宮城県副知事の挨拶の後、市川道夫東北防衛局長から挨拶と訓練概要等の説明がなされ、引き続き鶴岡隆之企画部長から去る10月28日に同協議会から防衛大臣宛てに提出された要望書に対する対応について説明を行いました。これらの説明に対して各委員からの質疑がなされ、市川局長から地域住民の安心・安全に万全を期すこと、適時・的確な情報提供を行うことなどの回答をしました。



挨拶を行う市川東北防衛局長

協議の結果、協議会からは、訓練日数がこれまでと同程度であり、当該訓練は、我が国の安全保障と沖縄県における過重な負担の軽減を図るという観点で国の責任において実施しているものであることから、やむを得ないものとする回答をいただきました。

東北防衛局では、訓練の円滑かつ安全な実施と、地域住民の方々の不安解消を図るため、王城寺原演習場内に「現地連絡本部」を設置し、地元自治体等への情報提供や連絡調整のほか演習場周辺の巡回など、24時間体制で行うこととしております。



左から、萩原大衡村長、早坂色麻町長、池田宮城県副知事
浅野大和町長



市川東北防衛局長

（奥：鶴岡企画部長、手前：佐藤地方調整課長）